

### 2度目の緊急事態宣言発出！！

1月7日(木)、政府により新型コロナウイルス感染拡大による2度目の緊急事態宣言が発表されました。不要不急の外出自粛が要請され、特に20時以降控えてくださいとの発表を受けて、通常21時閉館のところ、1時間短縮して20時閉館の運営となりました。

また会食などの食事による感染が多発していることを受け、館内全てでお菓子を含めた食事禁止となり、キッチンスタジオは閉室となりました。

当初、2月7日までだった緊急事態宣言も、2月3日に宣言の延長が発表され、3月7日まで同様の制限を行うことを決定しました。



### お正月の雰囲気漂う「花と風船」

もりんぴあで行われる1月のイベントといえば「もりんぴあザ・お正月」。今年は新型コロナウイルスの影響、緊急事態宣言下ということで、お餅つき・箏曲演奏・寄席が中止となりました。唯一行われたのが、フラワーフリーワーク(華道パフォーマンス)でした。1階サロンスペースに特設会場を設け、流趣会代表の木川流趣氏により、小菊と松を使ったお正月らしい生け花を完成させました。日本もみの木で空間を出し、石化柳の独特な曲線を利用した作品は、図書館を訪れた人や通りかかった人などの目をひき、立ち止まってじっくり見入る人も数多く見受けられました。



その華道作品の向い側にある階段の壁面を利用して行われたのが、「お正月インスタレーション」。インスタレーションとは空間そのものを作品とするアート・表現技法で、今回は壁面をキャンバスのように見立てました。バルーンアーティストの



小林玲子氏により今年の干支である牛と鬼滅の刃の主人公「竈門炭治郎」の羽織の柄を連想させる市松模様を組み合わせ華やかな作品となりました。完成後、写真を撮る人が多く、まさに映えスポットとなりました。

また、12月26日(土)には「華道体験教室」が行われ、竹の器を使ったお正月らしい生け花を体験しました。敷居の高いイメージがある華道を気軽に体験してもらうこの教室、小学生から70代の方まで幅広い年齢層の方が参加しました。華道家 池坊 桜井裕子氏を講師に迎え、お正月の生け花の意味やそれぞれの材料の名前・特性などをわかりやすく丁寧に順を追いつながりながら教えてもらい、参加者はそれぞれ楽しそうに花を生けました。



### 地域の若手作家の独創的な作品展

公津の杜コミュニティセンターでは、地域の若手作家の活動支援として、ギャラリーでの展示会を行っています。

1月4日(月)から2月6日(土)まで「ハチボチアートギャラリー展」と題し、4名の作家の展示が行われました。今回展示を行った4人は、表現分野が日本画・彫刻・イラストレーション・家具とそれぞれ異なりましたが、展示してみると、不思議と融合しているように見え、ギャラリー全体で雰囲気を醸し出していました。他の用事で館を訪れた人も目を引かれる作品につられて、自然と足がギャラリー内へと向いていました。



### こどものまち特別編「市役所見学」

今年度の「こどものまち」はコロナ禍により例年通りの開催という訳にはいかず、こども実行委員が市役所の職員となり、住んでいる人のことを思い浮かべて、まちにあったら喜んでもらえる建物や場所を家にあるものを使って作ってみようという、ミニチュアの展示形式になりました。(詳細は「もりんぴあタイムズ」号外を参照) こどものまち市役所で行ったまち作りと実際の市役所の各課での仕事内容や役割の相違点などを学ぶ「市役所見学」では、年末の12月24日という忙しい時期にも関わらず、市役所の主要な課にご協力頂きました。



まずはじめに6階大会議室で4つのグループに分かれて、各課の代表の方からその課の仕事内容・役割の説明を受けたり、質問に答えて頂きました。最初は緊張していたこどもたちも、職員の優しく親切な対応により、場の雰囲気にも慣れ、

積極的に質問や意見を述べる事ができました。

その後、市長室を見学したのち、庁議室で小泉市長へこども実行委員より市長へお願いしたいことが書かれた要望書をお渡ししました。この要望書にはこどもらしいお願いの他、交差点に信号をつけて欲しいなど具体的なものなど様々なお願いがありました。そして小泉市長からはまち作りやコロナ禍での過ごし方についてのお話があったり、こどもたちからの質問に答えて頂きました。最後に議場へ移動し、議会事務局の説明



の後、議場を自由に見学しました。こどもたちにとって、とても有意義な時間になったようです。

# 図書館だより

## 杜のふゆのおはなしかい

1月5日、『杜のふゆのおはなしかい』を MORI×MORI ホールで開催しました。演目は、パネルシアター『十二支のはじまり』、大型絵本『おもちのかみさま』、おはなし『小さな赤いセーター』、『絵姿女房』でした。どれも冬やお正月にぴったりのおはなしです。



子どもたちは、パネルシアターで干支の順番を言ったり、物語の展開に合わせて笑ったり、驚いたりしながら聞き入っていたようです。絵本とおはなしの間の手遊び「もちめがね」では、子どもたちと保護者で身体を大きく動かして大きなおもちを作っている様子が印象的でした。新年最初のおはなしかいで、子どもたちはおはなしの世界を満喫していたようです。



毎月2回の『杜のおはなしかい』も再開しています。会場へは図書館の人と一緒に移動しますので、参加する人は開催日の午後3時におはなしのつ前に集まってください。詳しい日程は、図書館ホームページ及び図書館内に掲示しているポスター・チラシ等でご確認ください。



# なかよしひろばだより

## 寒さに負けずにおそと遊び！

ひろばでは毎月2回、もりんぴあこうづのお隣の大作台公園でおそとひろばを開催しています。ひろばが予約制になり時間も制限がある今、予約なしでフラッと自由に遊びに来られるおそとはとても人気です。暖かい日はもちろん、寒い日でも多くの親子が楽しみにしています。

最近は外遊びが好きで以前からよく参加する2、3歳の子どもたちはもちろん、公園デビューの赤ちゃん親子も増えています。ママの抱っこで参加した赤ちゃんはいっぱいのしゃぼん玉や、大きい子の遊びの様子を見て楽しそう。歩き始めた赤ちゃんはまだ外で歩くのに慣れないようで、お母さんに励まされながら一生懸命歩く様子が微笑ましいです。



風の強い日も多いのですが、大きなしゃぼん玉ができたり、凧がよくあがったりするのも冬のおそとひろばの醍醐味です。風に吹かれて元気に遊ぶ子どもたちの姿に、大人も元気がもらえます。



## コロナを忘れさせる美しい音色！



12月19日(土)に2階にある MORI×MORI ホールで「クリスマスミュージックフェスタ 2020」が行われました。若手アーティストを招き、良質な音楽とクリスマスの楽しさを味わってもらおうクリスマスミュージックフェスタ。今回のメインアクト

にピアニストの石田千飛世さんをお招きし、バッハやリスト、メシアンなどの演奏の他、このミュージックフェスタのために作曲された新曲2曲を披露していただきました。またアンコールでは、観客3人から「ファ・ソ・レ」と3つの音階を指定してもらい、即興で演奏を行い、観客を魅了しました。

この日、トップバッターを飾ったのは、メンバーに公津の杜小学校出身者がいるアカペラグループ「どんぐり研究会」。J-POPを中心に歌い上げ、聴衆を楽しませました。どんぐり研究会の次は、全国コンクールで金賞という経歴をもつ池田慶太さん・池田永奈さんが連弾を披露しました。



## おまけの1枚

TBSで放送されている『バナナマンのせっかくグルメ』という番組のロケが行われました。バナナマン日村さんやゲストの方が地元の人だから知っている絶品おススメのグルメを聞いて、出演者自らお店にアポをとり、実際に食べに行くという番組。



地元の人へのインタビュー場所としてサロン前のスペースとりモート先として会議室をご利用頂き、大晦日と1月17日に放送されました。

## 編集後記

先日、好きな歌手の配信ライブがありました。知人も同じライブを見ていると知り、ライブを見ながらLINEで感想を言い合うという、普通のライブではありえない状況が面白く、コロナ禍ならではの楽しみ方でした。今後、こういった配信ライブが定着するのでしょうか？(K)

コロナ禍の去年、別の病気を患い半年を病室で過ごした。師走16日はベト翁の250歳の誕生日。そして、この3人がいなければ世界は少しく詰まらないものだったろう。「12月5日 巨星垂直に並び墜つ。アマデウス、デュマ、モネの命日」(T)

公津の杜コミュニティセンター  
 (指定管理者 アクティオ株式会社)  
 発行人: 田村 修 編集: 鹿嶋 聡明  
 〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地  
 TEL: 0476-27-5252 FAX: 0476-27-5353  
 E-mail: info-kozu@morinpiakozu.jp HP: http://morinpiakozu.jp/

もりんぴあ  
 こうづ  
 Morinpia Kozu